

植え付けサンゴ観察報告(万座、平成21年4月)

平成 21 年 5 月 5 日

チーム美らサンゴ

1 はじめに

平成 19 年と 20 年夏の高水温により、植えつけたサンゴの内約 500 群体が白化現象により死滅しました。そこで、平成 21 年春からそれらのサンゴを補うため、地元チーム(漁協、万座ビーチ)でサンゴの取替え作業を行いました。また、平成 20 年より、瀬良垣地先のオニヒトデも増加傾向にありましたので、定期的にオニヒトデ駆除を実施しました。

2 平成 21 年、第 1 回定期観察

- ①作業日 平成 21 年 4 月 30 日
- ②作業場所 恩納村万座ビーチ地先
- ③作業者 3 名
- ④作業内容 岩ごとの生存数・死亡数の確認、写真撮影、オニヒトデ駆除 1 匹



観察状況



タチハナガサミドリイシ(平成 17 年春植え)



ショウガサンゴ(平成 17 年秋植え)



ヒメマツミドリイシ



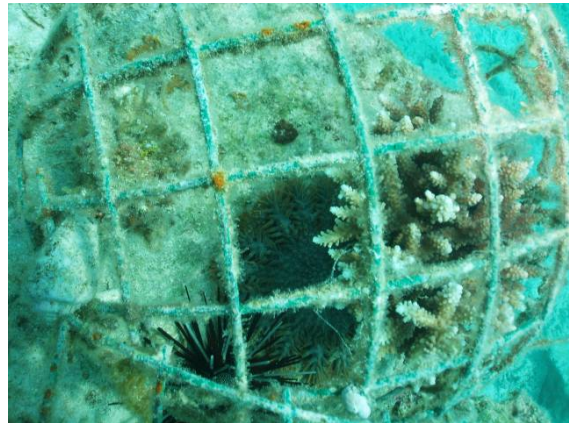
トゲホソエダミドリイシ(平成 18 年秋植え)



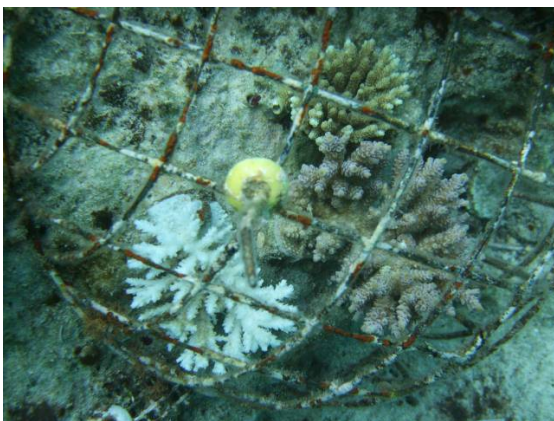
ヒメマツミドリイシ(平成 18 年秋植え)



ウスエダミドリイシ



コエダミドリイシのカゴに入ったオニヒトデ



平成20年に植え付けたサンゴ
オニヒトデによる食害を受けています。



平成21年春に地元で取り替えたサンゴ。

⑤観察結果

近年、夏場の高水温により白化現象で死滅する群体数が増加しました。そこで、地元チームによるサンゴの取替えを行いました。しかしながら、小型のオニヒトデによる食害が見られたので、オニヒトデ駆除に力を入れた結果、4月中の取替えは52群体となりました。

平成20年11月22日現在の生存植え付けサンゴ数は、213群体でした。4月に地元で52群体を植え付け、昨年11月から4月末までで、81群体が死亡しました。その結果、現在の生存数は、184群体となっています。

平成20年にサンゴを植えた岩は、O、P、Q岩です。小さなオニヒトデは、小さなサンゴを好んで食する傾向にあり、これらの3岩でオニヒトデによる食害の73%を占めました。

表1、平成21年4月の状況

岩記号	20.11.22	4月19日まで 現地植え付け分	21.4.30 調査	
	生存		生存	死亡
A	3	1	4	
B				
C	7	2	9	
D	2	1	3	
E	0	7	7	
F	11		1	10
G		4	4	
H	3	1	4	
I	0	5	5	
J	15		5	10
K	7	3	10	
L				
M	7		5	2
N	7	3	10	
O	76	25	73	28
P	32		18	14
Q	43		26	17
計	213	52	184	81

3 オニヒトデ駆除など

- ①作業日 平成 21 年 2 月 26 日、他 7 日間
- ②作業場所 恩納村万座ビーチ地先
- ③作業者 3 名
- ④作業内容 水温計の取替え、写真撮影、オニヒトデ駆除
- ⑤作業結果

恩納漁港の皆さんの情報によると、植え付けたサンゴがオニヒトデによる食害を受けている。集中的に駆除を行って 40 個体を駆除したが、オニヒトデが小さく、全部を取ることができないというものでした。

当日は、植え付けサンゴの食害とオニヒトデは、見られませんでした。そこで、周辺海域よりオニヒトデ 40 匹を駆除しました。

その後も恩納漁港の皆さんで、継続的にオニヒトデ駆除を行っています。



水温計の取替え作業



周辺海域よりのオニヒトデ駆除(リーフ側)

4 今後の計画

植え付けられたサンゴは、夏場の白化現象の他、今年はオニヒトデによる食害を受けました。オニヒトデについては、周辺海域を含め、より重点的に駆除を行います。また、地元チームでサンゴの取替え作業を進めます。さらに、チーム美らサンゴによる植え付けは、現在のところ 1 人 1 本ですが、1 人で 2 本～3 本を植えられることができないものか関係者と調整します。